

【2016年2月12日更新】2015年度冬版 L2-Tech水準表の正誤表

No	区 分			設備・機器等の 名称	変更概要	正 (赤字が修正箇所)						誤					
						クラス		L2-Tech 水準	測定単位		その他	クラス		L2-Tech 水準	測定単位		その他
						条 件	能 力		単 位	名 称		条 件	能 力		単 位	名 称	
A-10-003	産業・業 務 (業種 共通)	空調/給湯/ 産業用ア ロセス	コージェ ネレー ション	燃料電池コ ージェネレー ション	誤記・編集上の ミスのため修正	50Hz	-	42.0	%	発電効率	【計算方法】 JISC8801:2009 りん酸形燃料電池発電システム通則 JISC8801:2009に準拠 【試験条件】 JISC8801:2009 りん酸形燃料電池発電システム通則 JISC8801:2009に準拠	50Hz	-	42.0	%	発電効率	【計算方法】 JISB8121:2009 コージェネレーションシステム用語 JISB8121:2009に準拠 【試験条件】 JISB8122:2009 コージェネレーションユニットの性能試験 方法 JISB8122:2009に準拠
						-	-	91.0	%	総合効率	【計算方法】 JISC8801:2009 りん酸形燃料電池発電システム通則 JISC8801:2009に準拠 【試験条件】 JISC8801:2009 りん酸形燃料電池発電システム通則 JISC8801:2009に準拠	-	-	91.0	%	総合効率	【計算方法】 JISB8121:2009 コージェネレーションシステム用語 JISB8121:2009に準拠 【試験条件】 JISB8122:2009 コージェネレーションユニットの性能試験 方法 JISB8122:2009に準拠
						60Hz	-	42.0	%	発電効率	【計算方法】 JISC8801:2009 りん酸形燃料電池発電システム通則 JISC8801:2009に準拠 【試験条件】 JISC8801:2009 りん酸形燃料電池発電システム通則 JISC8801:2009に準拠	60Hz	-	42.0	%	発電効率	【計算方法】 JISB8121:2009 コージェネレーションシステム用語 JISB8121:2009に準拠 【試験条件】 JISB8122:2009 コージェネレーションユニットの性能試験 方法 JISB8122:2009に準拠
						-	-	91.0	%	総合効率	【計算方法】 JISC8801:2009 りん酸形燃料電池発電システム通則 JISC8801:2009に準拠 【試験条件】 JISC8801:2009 りん酸形燃料電池発電システム通則 JISC8801:2009に準拠	-	-	91.0	%	総合効率	【計算方法】 JISB8121:2009 コージェネレーションシステム用語 JISB8121:2009に準拠 【試験条件】 JISB8122:2009 コージェネレーションユニットの性能試験 方法 JISB8122:2009に準拠

【2016年2月5日更新】2015年度冬版 L2-Tech水準表の正誤表

No	区 分			設備・機器等の 名称	変更概要	正 (赤字が修正箇所)						誤					
						クラス		L2-Tech 水準	測定単位		その他	クラス		L2-Tech 水準	測定単位		その他
						条 件	能 力		単 位	名 称		条 件	能 力		単 位	名 称	
A-10-001	産業・業 務 (業種 共通)	空調/給湯/ 産業用ア ロセス	コージェ ネレー ション	ガスエンジン コージェネレー ション	誤記・編集上の ミスのため修正	60Hz	【発電出力】 35kW以下 35kW超500kW以下 500kW超750kW以下 750kW超1000kW以下 1000kW超2000kW以下 2000kW超3000kW以下 3000kW超	34.0 41.5 41.2 42.5 45.5 47.8 49.5	%	発電効率	-	60Hz	【発電出力】 35kW以下 35kW超500kW以下 500kW超750kW以下 750kW超1000kW以下 1000kW超2000kW以下 2000kW超3000kW以下 3000kW超	34.0 41.6 41.2 42.5 45.5 47.8 49.5	%	発電効率	-

No	区分			設備・機器等の名称	変更概要	正(赤字が修正箇所)						誤																																
	部門1	部門2	技術分類			クラス		L2-Tech水準	測定単位		その他	クラス		L2-Tech水準	測定単位		その他																											
						条件	能力		単	名		単	名																															
A-12-001		照明	照明器具	LED照明器具	誤記・編集上のミスのため修正	ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角60° 超	-	131.2	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角・広	-	131.2	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																											
						ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角30° 超 60°以下	-	133.3	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角・中	-	133.3	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																											
						ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角30°以下	-	98.8	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角・狭	-	98.8	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																											
						ダウンライト型 温白色、電球色 配光角60° 超	-	104.0	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 温白色、電球色 配光角・広	-	104.0	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																											
						ダウンライト型 温白色、電球色 配光角30° 超 60°以下	-	109.4	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 温白色、電球色 配光角・中	-	109.4	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																											
						ダウンライト型 温白色、電球色 配光角30°以下	-	87.2	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 温白色、電球色 配光角・狭	-	87.2	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																											
A-15-001		動力他	変圧器	変圧器	誤記・編集上のミスのため修正	モールド変圧器、三相、50Hz	【定格容量】	W	全損失	-	モールド変圧器、三相、50Hz	【定格容量】	W	全損失	-																													
						20kVA以下	151	151	20kVA超30kVA以下	186	186	30kVA超50kVA以下	295	295	50kVA超75kVA以下	249	249	75kVA超100kVA以下	309	309	100kVA超150kVA以下	414	414	150kVA超200kVA以下	470	470	200kVA超300kVA以下	581	581	300kVA超500kVA以下	899	899	500kVA超750kVA以下	1675	1675	750kVA超1000kVA以下	2094	2094	1000kVA超1500kVA以下	3555	3555	1500kVA超2000kVA以下	4600	4600
						モールド変圧器、三相、60Hz	【定格容量】	W	全損失	-	モールド変圧器、三相、60Hz	【定格容量】	W	全損失	-																													
						20kVA以下	143	143	20kVA超30kVA以下	178	178	30kVA超50kVA以下	287	287	50kVA超75kVA以下	244	244	75kVA超100kVA以下	293	293	100kVA超150kVA以下	411	411	150kVA超200kVA以下	460	460	200kVA超300kVA以下	592	592	300kVA超500kVA以下	852	852	500kVA超750kVA以下	1715	1715	750kVA超1000kVA以下	2028	2028	1000kVA超1500kVA以下	3590	3590	1500kVA超2000kVA以下	4580	4580
						D-11-001	家庭	照明	照明器具	LED照明器具(家庭用)	誤記・編集上のミスのため修正	ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角60° 超	-	83.0	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角・広	-	83.0	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																					
												ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角30° 超 60°以下	-	94.7	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角・中	-	94.7	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																					
												ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角30°以下	-	90.5	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 昼光色、昼白色、白色 配光角・狭	-	90.5	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																					
												ダウンライト型 温白色、電球色 配光角60° 超	-	73.2	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 温白色、電球色 配光角・広	-	73.2	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																					
												ダウンライト型 温白色、電球色 配光角30° 超 60°以下	-	86.2	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 温白色、電球色 配光角・中	-	86.2	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																					
												ダウンライト型 温白色、電球色 配光角30°以下	-	80.8	lm/W	固有エネルギー消費効率	-	ダウンライト型 温白色、電球色 配光角・狭	-	80.8	lm/W	固有エネルギー消費効率	-																					

No	区分			設備・機器等の名称	変更概要	正(赤字が修正箇所)					誤					
						クラス		L2-Tech水準	測定単位		その他	クラス		L2-Tech水準	測定単位	
	条件	能力	単位			名称	条件		能力	単位		名称				
D-15-002		空調	窓	誤記・編集上のミスのため修正	Low-E複層ガラス・樹脂サッシ・引き違い	-	1.60	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層ガラス・樹脂サッシ・引き違い	-	1.60	W/m2K	熱貫流率	
					Low-E複層ガラス・樹脂サッシ・縦すべり出し	-	1.33	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層ガラス・樹脂サッシ・縦すべり出し	-	1.33	W/m2K	熱貫流率	
					Low-E複層ガラス・樹脂サッシ・FIX	-	1.33	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層ガラス・樹脂サッシ・FIX	-	1.33	W/m2K	熱貫流率	
					Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・引き違い	-	1.70	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・引き違い	-	1.70	W/m2K	熱貫流率	
					Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・縦すべり出し	-	1.52	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・縦すべり出し	-	1.52	W/m2K	熱貫流率	
					Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・FIX	-	1.52	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・FIX	-	1.52	W/m2K	熱貫流率	
					Low-E複層(三層)ガラス・樹脂サッシ・引き違い	-	1.06	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層(三層)ガラス・樹脂サッシ・引き違い	-	0.90	W/m2K	熱貫流率	
					Low-E複層(三層)ガラス・樹脂サッシ・縦すべり出し	-	0.79	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層(三層)ガラス・樹脂サッシ・縦すべり出し	-	0.79	W/m2K	熱貫流率	

No	区分			設備・機器等の名称	変更概要	正(赤字が修正箇所)				誤							
	クラス		L2-Tech水準			測定単位		その他	クラス		L2-Tech水準	測定単位		その他			
	条件	能力				単位	名称		条件	能力		単位	名称				
	部門1	部門2	技術分類			Low-E複層(三層)ガラス・樹脂サッシ・FIX	-	0.76	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層(三層)ガラス・樹脂サッシ・FIX	-	0.76	W/m2K	熱貫流率	
						Low-E複層(三層)ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・引き違い	-	1.22	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層(三層)ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・引き違い	-	1.22	W/m2K	熱貫流率	
						Low-E複層(三層)ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・縦すべり出し	-	1.03	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層(三層)ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・縦すべり出し	-	1.03	W/m2K	熱貫流率	
						Low-E複層(三層)ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・FIX	-	1.03	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	Low-E複層(三層)ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・FIX	-	1.03	W/m2K	熱貫流率	
						真空ガラス・樹脂サッシ・引き違い ※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	1.38	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	真空ガラス・樹脂サッシ・引き違い ※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	1.38	W/m2K	熱貫流率	
						真空ガラス・樹脂サッシ・縦すべり出し ※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	1.29	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	真空ガラス・樹脂サッシ・縦すべり出し ※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	1.29	W/m2K	熱貫流率	
						真空ガラス・樹脂サッシ・FIX ※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	1.14	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	真空ガラス・樹脂サッシ・FIX ※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	1.14	W/m2K	熱貫流率	
						真空ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・引き違い ※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	1.66	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	真空ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・引き違い ※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	1.66	W/m2K	熱貫流率	

No	区分			設備・機器等の名称	変更概要	正(赤字が修正箇所)						誤					
						クラス		L2-Tech水準	測定単位		その他	クラス		L2-Tech水準	測定単位		その他
	部門1	部門2	技術分類			条件	能力		単位	名称		条件	能力		単位	名称	
						真空ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・ 縦すべり出し ※右記の水準は、一般社団法人リビ ングアメニティ協会が提供する、窓の断 熱性能プログラム「WindEye」を用い て算出	-	1.59	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ 内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び 低炭素建築物の認定基準に関する技術情 報」に基づく代表試験体サイズによる認証 を行う。代表試験体サイズで認証された場 合は、全てのサイズにおいて認証を適用す る。	真空ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・ 縦すべり出し ※右記の水準は、一般社団法人リビ ングアメニティ協会が提供する、窓の断 熱性能プログラム「WindEye」を用い て算出	-	1.59	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ 内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び 低炭素建築物の認定基準に関する技術情 報」に基づく代表試験体サイズによる認証 を行う。代表試験体サイズで認証された場 合は、全てのサイズにおいて認証を適用す る。
					真空ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・ FIX ※右記の水準は、一般社団法人リビ ングアメニティ協会が提供する、窓の断 熱性能プログラム「WindEye」を用い て算出	-	1.32	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ 内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び 低炭素建築物の認定基準に関する技術情 報」に基づく代表試験体サイズによる認証 を行う。代表試験体サイズで認証された場 合は、全てのサイズにおいて認証を適用す る。	真空ガラス・アルミ樹脂複合サッシ・ FIX ※右記の水準は、一般社団法人リビ ングアメニティ協会が提供する、窓の断 熱性能プログラム「WindEye」を用い て算出	-	1.32	W/m2K	熱貫流率	【試験条件】：以下を追記 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ 内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び 低炭素建築物の認定基準に関する技術情 報」に基づく代表試験体サイズによる認証 を行う。代表試験体サイズで認証された場 合は、全てのサイズにおいて認証を適用す る。	
E-01-001	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	燃料電池	固体酸化物形燃料電池 (SOFC)設備	表現の適正化	-		【出力】 200kW以下	%	発電効率	【区分・技術分類】 燃料電池	-		【出力】 200kW以下	%	発電効率	【区分・技術分類】 コージェネレーション
E-02-001			太陽光発電	太陽電池(シリコン系・単結晶)	誤記・編集上の ミスのため修正	-	20.1	%	モジュール 変換効率	【計算方法】 JISC8914:2005 結晶系太陽電池モジュール出力測定方法 【試験条件】 JISC8914:2005 結晶系太陽電池モジュール出力測定方法 JISC8914:2005に準拠	-		20.1	%	モジュール 変換効率	【計算方法】 JISC8913:2005 結晶系太陽電池セル出力測定方法 【試験条件】 JISC8913:2005 及びJISC8960:2012 結晶系太陽電池セル出力測定方法 及び太陽光発電用語	
						-		*22.5	%	セル実効 変換効率	【計算方法】 JISC8960:2012 太陽光発電用語 $\eta = P_m / (A \times G) \times 100$ η :セル実効変換効率[%] P_m :最大出力[W] A :太陽電池セルの全面積[m ²] G :放射照度[W/m ²] = 1,000W / m ² 【試験条件】 JISC8914:2005 結晶系太陽電池モジュール出力測定方法 JISC8914:2005に準拠	-		*22.5	%	セル実効 変換効率	【計算方法】 JISC8913:2005 結晶系太陽電池セル出力測定方法 $\eta = P_s / (A \times E_r) \times 100$ η :セル実効変換効率[%] P_s :セル公称最大出力[W] A :セル面積[m ²] E_r :放射照度[W/m ²] = 1,000W / m ² 【試験条件】 JISC8913:2005 及びJISC8960:2012 結晶系太陽電池セル出力測定方法 及び太陽光発電用語
E-02-002				太陽電池(シリコン系・多結晶)	誤記・編集上の ミスのため修正	-	16.4	%	モジュー ル変換効 率	【計算方法】 JISC8914:2005 結晶系太陽電池モジュール出力測定方法 【試験条件】 JISC8914:2005 結晶系太陽電池モジュール出力測定方法 JISC8914:2005に準拠	-		20.1	%	モジュー ル変換効 率	【計算方法】 JISC8913:2005 結晶系太陽電池セル出力測定方法 【試験条件】 JISC8913:2005 及びJISC8960:2012 結晶系太陽電池セル出力測定方法 及び太陽光発電用語 JIS C8960において定められた実効変換効率 を基に、モジュール化後のセル実効変換効 率(略称:セル実効変換効率)をセル実効 変換効率 = モジュールの公称最大出力 / (太陽電池セルの合計面積×放射照度)で求 める。ここで、太陽電池セルの合計面積 = 1セルの全面積×1モジュールのセル数。1 セルの全面積には、セル内の非発電部を含 む。ただし、シリコン薄膜系、化合物系の セル全面積には集積部を含まない。	
E-02-003				太陽電池(化合物系)	誤記・編集上の ミスのため修正	-	13.8	%	モジュー ル変換効 率	【計算方法】 JISC8914:2005 結晶系太陽電池モジュール出力測定方法 【試験条件】 JISC8914:2005 結晶系太陽電池モジュール出力測定方法 JISC8914:2005に準拠	-		20.1	%	モジュー ル変換効 率	【計算方法】 JISC8913:2005 結晶系太陽電池セル出力測定方法 【試験条件】 JISC8913:2005 及びJISC8960:2012 結晶系太陽電池セル出力測定方法 及び太陽光発電用語	

No	区 分			設備・機器等の名称	変更概要	正 (赤字が修正箇所)						誤					
						クラス		L2-Tech 水準	測定単位		その他	クラス		L2-Tech 水準	測定単位		その他
						条 件	能 力		単 位	名 称		条 件	能 力		単 位	名 称	
E-02-004				太陽電池 (薄膜シリコン)	誤記・編集上のミスのため修正	-	-	10.5	%	モジュール変換効率	【計算方法】 JISC8935:2005 アモルファス太陽電池モジュール出力測定方法 【試験条件】 JISC8935:2005 アモルファス太陽電池モジュール出力測定方法 JISC8935:2005に準拠	-	-	10.5	%	モジュール変換効率	【計算方法】 JISC8934:2005 アモルファス太陽電池セル出力測定方法 【試験条件】 JISC8934:2005 及び JISC8960:2012 アモルファス太陽電池セル出力測定方法及び太陽光発電用語 JISC8934:2005及び JISC8960:2012に準拠
E-04-002			地熱発電	蒸気熱源小型バイナリー発電設備	誤記・編集上のミスのため修正	-	【出力】 200kW未満	*8.6	%	送電端発電効率	【試験条件】 送電端発電効率の算出にあたっては、蒸気温度、蒸気流量、冷却水温度、冷却水量、入口蒸気温度、入口蒸気エンタルピ、出口ドレン温度、出口ドレンエンタルピを以下のとおり設定することを条件とする。 蒸気温度：130℃ 蒸気流量：1.8ton/h 冷却水温度：20℃ 冷却水量：100ton/h 入口蒸気温度：130℃ 入口蒸気エンタルピ：2.720kJ/kg 出口ドレン温度：40℃ 出口ドレンエンタルピ：168kJ/kg	-	【出力】 200kW未満	*8.6	%	送電端発電効率	【試験条件】 送電端発電効率の算出にあたっては、蒸気温度、蒸気流量、冷却水温度、冷却水量、入口蒸気温度、入口蒸気エンタルピ、出口ドレン温度、出口ドレンエンタルピを以下のとおり設定することを条件とする。 蒸気温度：130℃ 蒸気流量：1.8ton/h 冷却水温度：20℃ 冷却水量：120ton/h 入口蒸気温度：130℃ 入口蒸気エンタルピ：2.720kJ/kg 出口ドレン温度：40℃ 出口ドレンエンタルピ：168kJ/kg